

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

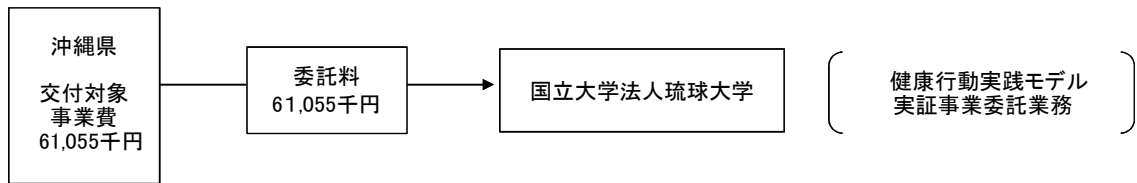
事業番号・事業名	65 健康行動実践モデル実証事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-ア				
担当部課名	保健医療部健康長寿課	事業実施(予定)年度	平成 24 ~ 28 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の食や風土に支えられた健康づくりの推進 Ⅲ-(4)	
事業内容	早世予防と平均寿命(健康寿命)の延伸を図ることを目的として、生活習慣病のリスクの高い青壮年期の健康意識の向上、行動変容(食事、運動消費)に誘導する新たな方法の開発・実証等を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】		26年度	26年度(繰越)	27年度	27年度(繰越)	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	71,000	-	60,000	0	61,055
		(b) 予算現額	71,000	-	60,000	0	61,055
		(c) 増減額(b-a)	0	-	0	0	0
		(d) 前年度繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	71,000	-	60,000	0	61,055
	B. 執行済額		71,000	-	60,000	0	61,055
	うち交付金充当額		56,800	-	48,000	0	48,844
	C. 次年度繰越額		0	-	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	-	100.0%	-	100.0%
予算の状況の説明		予算現額について予定通り執行することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	・事業期間(終期:H28)を通して、住民、関係者等の協力(データ提供等)を確保するため、関係者に関する有益な情報の提供を行う。 ・住民、関係者等を対象にした健康づくり講演会等の開催回数	目標	-	-	100	50	
		実績	-	-	87	48	
	・県民の健康意識の向上及び住民、関係者等の協力の確保、事業の中間報告等を行う事を目的とした、健康づくり市民公開講座を開催する。	目標	-	-	-	1	
		実績	-	-	-	1	
	【参考指標】 ・対象者の選定・ベースライン調査、追跡調査によるデータの蓄積 10,000人	目標	10,000	10,000	10,000	10,000	
実績		5,592	15,440	13,040	12,676		
達成状況説明	・目標に対して開催が2回下まわった理由は、関係者等の協力(データ提供)を確保するため、当初多めの開催を予定していたが、データを順調に回収できたため、一部の開催が不要となった。 ・平成28年12月18日(日)沖縄県立博物館・美術館の講堂において本事業の概要及び進捗を内容とする市民公開講座を開催した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(24年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(28年度)
	・後期の食育等の介入事業を実施し、対象者に対する追跡調査を行い、研究に必要なデータの蓄積を図る。 ・調査対象者の追跡調査実施率(約7割) 調査対象者約15,000人 目標 約10,000人(約70%)	目標	-	-	70.0%	70.0%	70.0%
		実績	-	-	86.9%	84.5%	-
	・青壮年層の健康意識の向上、行動変容に誘導するためのプログラムパッケージを作成する。	目標	-	-	-	作成	-
		実績	-	-	-	作成	-
進捗状況説明	成果目標である追跡調査実施率については、当初目標とした割合を達成しており(12,676名)、最終的な評価に向けたデータ確保ができたことから、目標を達成している。 また、実証事業で得た調査データの最終評価をもとに実証版のプログラムパッケージを作成したことから目標を達成している。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・長期間にわたる調査に継続的に協力してもらうため、H27年度に引き続き、事業目的等の理解を深めるセミナーをモデル市町村の関係者に実施した。 ・最終的な追跡調査の実施率は71.6%であった。(2年後調査/ベースライン調査) ・調査研究の成果として作成した実証版のプログラムパッケージを、市町村に展開活用するためにはより実用性を高める必要がある。 ・活用する場合に実証事業で得られた効果を十分に得るためには、プログラムパッケージを利用する者が介入内容や住民の巻き込み方のノウハウを習得することが重要となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、モデル市町村の関係者に対する普及啓発等の取組が必要である。 ・本事業で行った介入を県内市町村での普及に向けた調整が必要。 ・事業に参加することで得られる健康づくり情報などのメリットについても宣伝して行く必要がある。 ・実践段階において市町村が活用するに当たり、プログラムパッケージの取り組み方の詳細や参加住民の確保策などのノウハウについて技術移転方を検討する。 ・また市町村から関連する情報(地域活動、住民のつながり等)の情報を収集し、実践版に反映させることでプログラムを実施した場合の効果の向上や効率性を高めることができる。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・事業に参加することで得られる健康づくり情報などのメリットについても宣伝するとともに、市町村での活用に向けた手法を確立する。 ・食育等介入後の効果分析に関して住民健診効果を追加して評価し科学的根拠の充実を図る。 ・介入プログラムパッケージに関する市町村関係者向けの研修や県内の市町村との意見交換を通じて活用に関連する情報収集を行う。 ・平成29年度は、実証版のプログラムパッケージを改良を加え、青壮年期の健康意識の向上、行動変容に誘導するための実用版を作成する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
61,055	61,055	48,844	12,211	0	0	0



資金の流 れ、費 目	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流 れ、費 目	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○本事業は、生体試料の追跡を目的としたコホート研究であるため、県内で唯一医学部を有し、研究ノウハウを有する琉球大学を委託先として選定しており、妥当と考える。 ○予算規模は本研究の事業量に見合った人件費、事務費であり、妥当と考える。 ○費用・用途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について検査し、適正な執行と認められた。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	66	みんなのヘルスアクション創出事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-ア		
担当部課名	保健医療部健康長寿課	事業実施(予定)年度	平成 28 ~ 32 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の食や風土に支えられた健康づくりの推進 Ⅲ-4		
事業内容	健康長寿おきなわの復活に向けて、官民一体となった健康づくりをさらに推進するため、働き盛り世代や事業所(経営者等)における健康づくり実践を促す啓発普及を実施するとともに、健康課題に応じた職場における健康づくり実践を支援するためのツール提供等を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】		26年度	26年度(繰越)	27年度	27年度(繰越)	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	0	-	0	0	70,000
		(b) 予算現額	0	-	0	0	70,000
		(c) 増減額(b-a)	0	-	0	0	0
		(d) 前年度繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		0	-	0	0	70,000
	B. 執行済額		0	-	0	0	70,000
	うち交付金充当額		0	-	0	0	56,000
	C. 次年度繰越額		0	-	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		-	-	-	-	100.0%
予算の状況の説明		・予算額は、委託料(広報・イベント委託業務及び事業所等支援委託業務)として計上しており、執行率は100%となっている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)	達成状況					
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	働き盛りの世代の健康意識の向上や行動変容を促す広報実施	目標				広報・イベントの実施及び健康経営ハンドブックの作成	
		実績				広報・イベントの実施及び健康経営ハンドブックの作成	
		目標					
		実績					
達成状況説明	・広報・イベント事業については、テレビ、ラジオ、新聞等の各種メディアを活用し、県民を対象に広報及びイベントを実施した。 ・事業所等支援事業については、健康経営セミナーを開催したほか、健康経営ハンドブックを作成し、商工会議所等を通じ周知を図った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(28年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(32年度)
	働き盛り世代の健康に関する指標の改善 ・がん検診の認知度及び関心度	目標	認知度 27.3% 関心度 67.0%			認知度 27.3% 関心度 67.0%	認知度 40.0% 関心度 70.0%
		実績				認知度 36.9% 関心度 65.7%	
	働き盛り世代の健康に関する指標の改善 ・生活習慣病のリスクを高める飲酒量の認知度及び関心度	目標	認知度 34.0% 関心度 57.4%			認知度 34.0% 関心度 57.4%	認知度 23.0% 関心度 63.0%
		実績				認知度 19.5% 関心度 59.6%	
	進捗状況説明	・成果目標である働き盛り世代の健康に関する指標の改善のうち、がん検診の認知度及び関心度については、認知度の実績が36.9%となっており、達成している。また、生活習慣病のリスクを高める飲酒量の認知度及び関心度については、関心度の実績が59.6%となっており、達成している。 ・H28成果目標(指標)については、前身事業(長寿復活健康づくり事業)の効果測定値を参考に設定したが、本事業の効果測定においては、設問項目の変更及び調査方法の追加(街頭調査を追加)を行った。H28目標設定時とH28実績集計時の調査環境が異なることにより、精確な比較が行いにくい結果となった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・働き盛り世代の参加が見込まれるイベント等と連携した広報を実施し、がん検診や生活習慣病のリスクを高める飲酒量の認知度や関心度の現状把握及び周知を図ることができた。今後は、認知度や関心度の向上に加え、どのように健康行動の実践に結びつけていくか、さらに広報内容の工夫が必要である。</p>	<p>・広報については、的を絞ったピンポイントな情報をインパクト重視の表現を用いて、県民の意識にすり込むような構成を検討する。 また、イベントの実施についても、広報内容と連動した構成を検討するとともに、健康行動の実践につなげる訴求性を高めていく。</p>

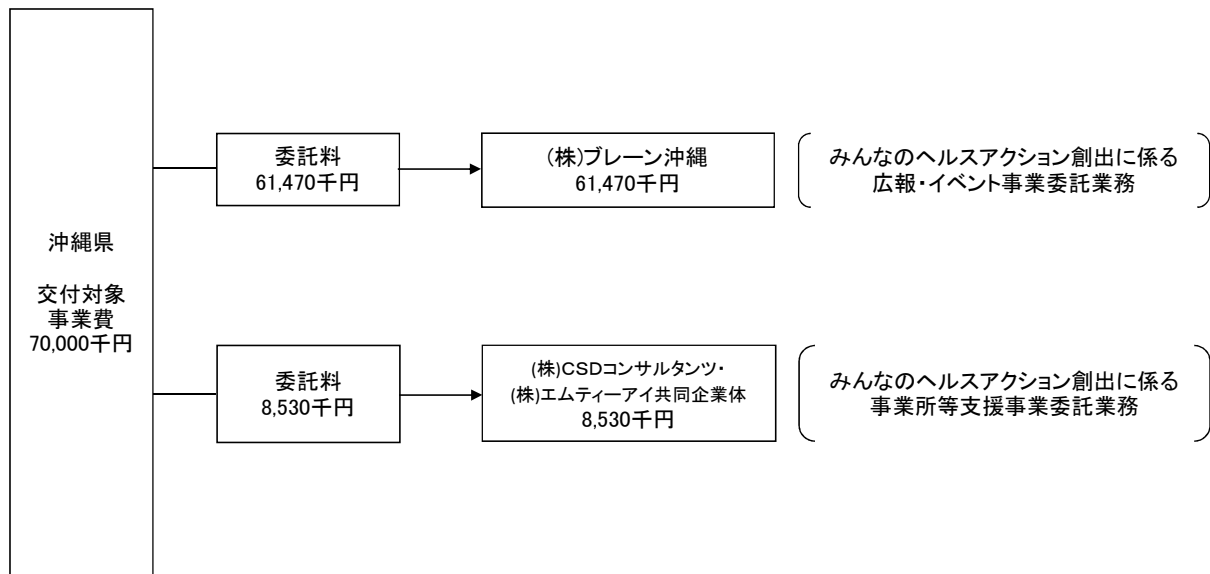
今後の取り組み方針

・平成29年度の広報媒体については、テレビ、ラジオ、新聞等だけではなく、働き盛り世代の接触が高いSNS(Facebook、Youtube、LINE等)の積極的な活用を検討する。成果指標となる認知度や関心度の向上を意識し、県民の頭に残るような広報内容の発信を第一優先とし、端的な健康情報を印象的な演出で表現していく。

・平成29年度のイベントの実施については、広報内容と連動した構成とすることで、認知や関心の継続や発展性を図るとともに、健康行動の実践につなげるため、各分野(身体づくり、メンタル等)の第一人者を外部講師として招くなど、健康づくりに対する意識の喚起を高めていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
70,000	70,000	56,000	14,000	0	0	0



資金の流 れ、費 用 目 録	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>広報・イベント事業及び事業所等支援事業の委託事業者は、それぞれ公募型プロポーザル方式により選定した業者である。</p> <p>なお、広報・イベント事業については、健康づくりに係る県民の訴求力の向上及び認知の継続性を図るため、テレビCM等にタレントの起用を考えていたため、委託業者については、次年度の随意契約を念頭に置いた契約を行った。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	228	サッカーキャンプ誘致戦略推進事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-イ		
担当部課名	文化観光スポーツ部	スポーツ振興課	事業実施 (予定)年度	平成 27 ~ 33 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	「スポーツアイランド沖縄」の形成 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	サッカーキャンプの誘致を戦略的に推進するため、キャンプ誘致活動とともに、県内グラウンドの芝生環境の向上を図るため芝管理の専門知識と技術を兼ね備えた人材を養成する取組を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> その他（事務費）						
予算額・執行額 【単位：千円】		26年度	26年度(繰越)	27年度	27年度(繰越)	28年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	0	—	62,223	0	59,553
		(b) 予算現額	0	—	62,223	0	59,553
		(c) 増減額 (b-a)	0	—	0	0	0
		(d) 前年度繰越額	—	—	—	—	—
	A. 計 (b+d)		0	—	62,223	0	59,553
	B. 執行済額		0	—	61,454	0	59,553
	うち交付金充当額		0	—	49,163	0	47,643
	C. 次年度繰越額		0	—	0	0	0
	執行率 (%) (B/A)		—	—	98.8%	—	100.0%
予算の状況の説明		執行率は100%となり、予定通り執行した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	専門的芝生管理技術を有する人材の育成	目標	—	—	研修生5名	研修生5名	
		実績	—	—	研修生10名	研修生5名	
	グラウンド管理モデルの導入	目標	—	—	2箇所	2箇所	
		実績	—	—	2箇所	1箇所	
	サッカーキャンプ実施件数	目標	—	—	17件	21件	
実績		—	—	21件	22件		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 人材育成研修：座学講習、実地研修(管理業務)、県外実地研修、芝管理技術者資格の取得等を実施し、5名の人材育成を行った。 グラウンド管理モデル事業：市町村管理のグラウンドを実地研修の場として提供してもらい、市町村と連携して、集中管理を行った。(1箇所) グラウンド管理モデルについて、1箇所については対象自治体と調整を進めたが、実施に至らなかった。 グラウンド巡回支援事業：県内グラウンドの巡回を通じて、芝生の状態や管理作業等の対応などについて情報交換を行う。 県内グラウンドの芝生環境の向上を図るとともにサッカーキャンプ誘致活動を行うことで、過去最高の22件の誘致を実現した。 上記の活動を実施し、活動目標を達成できた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値 (27年度)	26年度	27年度	28年度	目標値 (33年度)
	昨年度以上のサッカーキャンプ誘致件数 (H27実績21件)	目標	17件	—	17件	22件	42件
		実績	21件	—	21件	22件	—
		目標					
		実績					
		目標					
実績							
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 県内グラウンド芝生環境の向上を図るとともにサッカーキャンプ誘致活動を行うことで、過去最高となる22件の誘致を実現した。 サッカーキャンプ実施希望クラブは年々増えており、今後も大いに増加の可能性はある。 今後は中国や韓国のアジア地域をはじめとして、世界からサッカーキャンプの実施が期待できる。 						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・育成した人材の活用を図るとともに、県内芝草管理者のスキルアップを図る機会を創出するため、市町村施設管理者及び芝生管理を行う、県内関連事業者等との情報交換を引き続き行う必要がある。 ・芝生環境の向上に伴い、海外トップクラブチームのサッカーキャンプ誘致件数が増えているなか、芝生管理に対するニーズが高まっており、芝人修了生の習得技術を普及・発展させる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内芝草管理者向けに講習会等を開催することでノウハウの集積が図られる。 ・また、集積した事例等をフィードバックすることで、更なるサッカーキャンプ地としてのブランド化が図られる。 ・施設を管理する市町村との連携や情報共有の強化を図る必要がある。

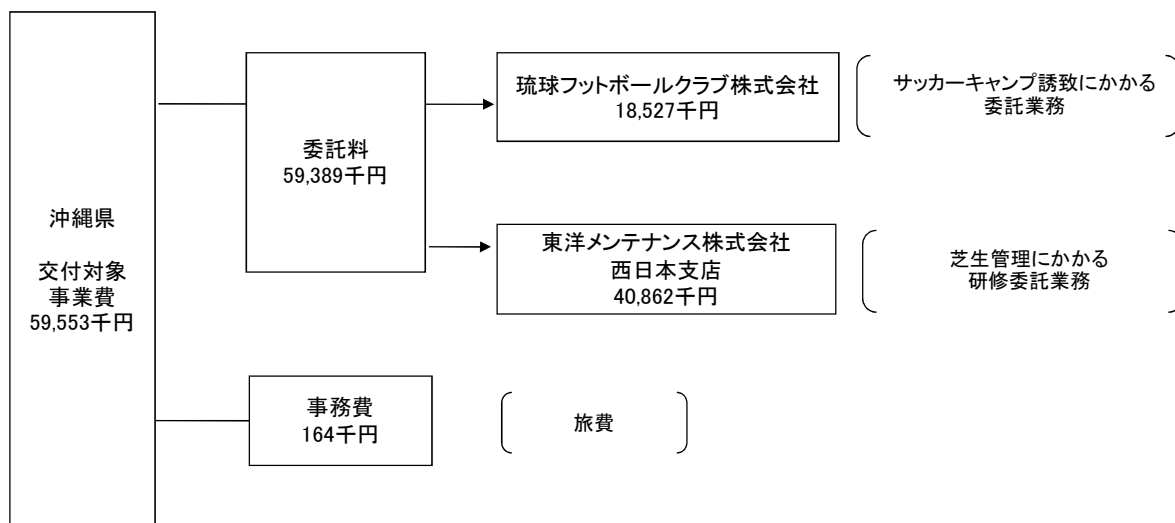
今後の取り組み方針

・芝生養成事業終了後も、芝人修了生等の人材活用による良質なスポーツターの向上を図るとともに、サッカーキャンプの更なる普及発展を目指し、県内市町村に対する理解促進及び県内グラウンドの質の均一化を図り、「サッカーキャンプ沖縄」のブランドを定着させる。

・キャンプ実施クラブのグローバル化が進むことから、多言語等受入体制の強化を図っていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
59,553	59,553	47,643	11,910	0	0	0



資金の流れ、費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○サッカーキャンプ誘致委託事業は企画提案方式により実績、実施体制、事業内容等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○芝生管理にかかる研修委託事業者は平成24年度において企画提案方式により選定されており、翌年以降は複数年度をかけて人材育成を実施するため、継続性の観点から随意契約となっており、妥当であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認を行い、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	229	地域健康力アップ推進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-イ			
担当部課名	文化観光スポーツ部スポーツ振興課	事業実施(予定)年度	平成 26 ~ 28 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生涯スポーツの推進		
事業内容	県民の健康増進と体力の向上を図るために、総合型地域スポーツクラブを活用し、継続的な体力測定の実施とスポーツ指導、交流イベント等を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】	予算の状況	(a) 当初予算額	26年度	26年度(繰越)	27年度	27年度(繰越)	28年度
		(b) 予算現額	25,538	—	26,731	0	27,966
		(c) 増減額 (b-a)	25,538	—	26,731	0	27,966
		(d) 前年度繰越額	0	—	0	0	0
		A. 計 (b+d)	—	—	—	—	—
	執行状況	B. 執行済額	25,538	—	26,731	0	27,966
		うち交付金充当額	25,235	—	26,505	0	27,858
		C. 次年度繰越額	20,188	—	21,204	0	22,287
		執行率 (%) (B/A)	0	—	0	0	0
	執行率 (%) (B/A)	98.8%	—	99.2%	—	99.6%	
予算の状況の説明	執行率は99.6%であり、不用額は旅費の執行残が発生したことによるものである。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	健康運動教室を実施	目標	—	21回	21回	12回	
		実績	—	21回	42回	60回	
	総合型地域スポーツクラブ全国交流会の参加者人数	目標	—	1000名	1200名	1200名	
		実績	—	1266名	696名	1533名	
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 5クラブが3カ月間で12回教室を実施した結果、総教室開催数が60回に達した。 当初計画では、月1回の教室開催を目標としたが、健康運動教室のプログラムを効果的に実施するため、週1回の開催としたことから、実績値が目標値を大幅に上回った。 全国交流会の主催クラブとその他の交流会参加クラブとが連携を図り、それぞれで交流会のイベント告知を行った。 						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値 (24年度)	26年度	27年度	28年度	目標値
	成人の週1回以上のスポーツ実施率の向上	目標	39%	—	—	45%	
		実績	—	—	—	42.2%	
	総合型地域スポーツクラブにおける体力測定者数	目標	—	600名	600名	600名	
		実績	—	225名	617名	1388名	
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度のスポーツ実施率は42.2%となっており、運動機会の増加及び県民の運動意識の向上がうかがえる(ただし、平成28年度と平成24年度の調査方法は異なる)。今後も県民のスポーツ・運動に対するニーズをよりの確に踏まえた上で、スポーツ機会創出の役割を担う総合型クラブの活性化を図っていく必要がある。 目標値を上回った要因は、当初計画では3クラブが体力測定を実施し、各クラブが計4回(月1回)行うとしたが、実施段階では、5クラブが体力測定を実施し、健康運動教室のプログラムを効果的に実施するため、計12回(週1回)行ったことから、実績値が目標値を大幅に上回った。 					

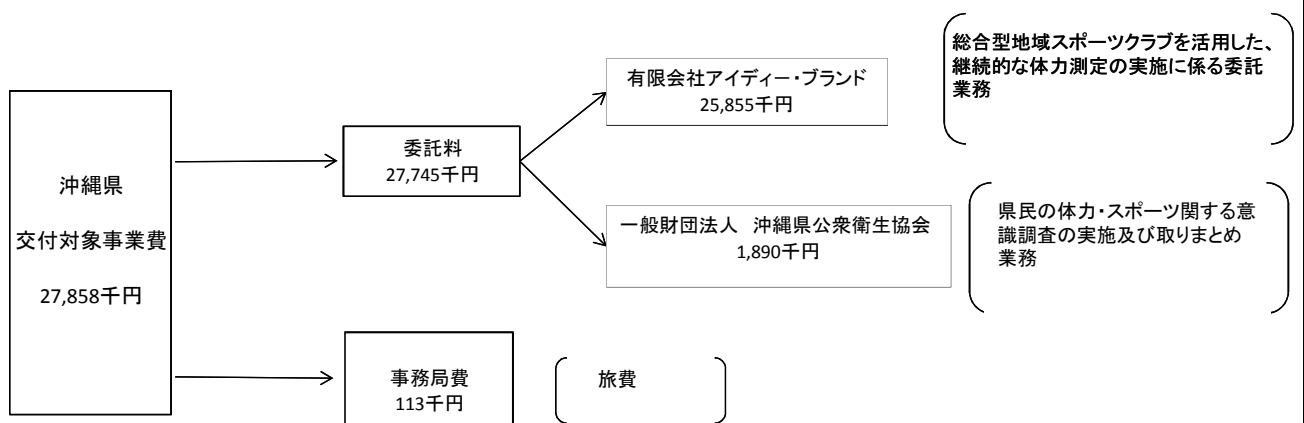
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 県内では平成26年度までに、41市町村のうち34市町村、計63クラブが設立または設立準備するまでに至ったが、28年度において、自主運営が可能なクラブは15クラブ程度である。今後は自主運営ができるクラブを増やしていくことが必要である。 平成28年度の沖縄県における運動・スポーツ実施率は、42.2%と、基準値(H24)の39%を上回っており、運動意識の高まりが見受けられる。地域のスポーツ機会を創出するためには、総合型クラブの活動が重要であるが、その認知度は、平成28年度で31.3%と低い傾向にあるため、認知度を向上させていくことが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動が弱い総合型クラブが多いことから、運営を支援することによって、地域に根ざした総合型クラブの育成に取り組み、地域住民との関わりを増やすことによって、認知度を向上させる必要がある。 総合型クラブの認知度を向上させるためには、総合型クラブの地域における活動を活性化していくほか、総合型クラブに関する情報発信をより強化する必要がある。

今後の取り組み方針

- 県内クラブ及び県外クラブ間で総合型クラブに関する情報交換の場をより多く開催し、情報発信(広告・宣伝)に関する勉強会の機会を作る。また、メディア媒体を利用し、総合型クラブの認知向上活動を広い範囲で行う。
- 活動が弱いクラブに対して、県内クラブ間の交流、及び積極的な運営を行っているクラブからの派遣などを通じて、運営に必要なノウハウの習得を支援する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
27,858	27,858	22,287	5,571	0	0	0



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募を行い、選定委員会を開催し、実績、知識、企画提案内容等を勘案した上で決定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	233	がんじゅーどー事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-イ		
担当部課名	土木建築部 道路管理課	事業実施 (予定)年度	平成 26 ~ 33 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	「スポーツアイランド沖縄」の形成 Ⅲ-11-(2)		
事業内容	ウォーキング・ジョギング・サイクリング等に利用しやすい道路空間を形成し、県民の健康づくりを推進するため、道路空間の整備を行う						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】		26年度	26年度(繰越)	27年度	27年度(繰越)	28年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	38,000	-	142,500	-	161,000
		(b) 予算現額	18,700	-	142,500	-	161,000
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 19,300	-	0	-	0
		(d) 前年度繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計 (b+d)		18,700	-	142,500	-	161,000
	B. 執行済額		18,549	-	142,174	-	158,929
	うち交付金充当額		14,839	-	113,739	-	127,143
	C. 次年度繰越額		0	-	0	-	0
	執行率 (%) (B/A)		99.2%	-	99.8%	-	98.7%
予算の状況の説明		・予算額は、実施設計を終えた5路線の工事請負費を計上。 ・執行率は98.7%であり、不用額(2,071千円)は工事における入札残によるものである。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	モデル路線の整備 (5路線)	目標	-	モデル5路線選定 実施計画策定	モデル路線の整備 (5路線)	モデル路線の整備 (5路線)	
		実績	-	モデル5路線選定 実施計画策定	モデル路線の整備 (5路線)	モデル路線の整備 (5路線)	
	H27整備効果の検証	目標				現状値より増	
実績					901人		
達成状況説明	・モデル5路線をウォーキング・ジョギング等に利用しやすい道路空間を整備する事ができた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値 (26年度)	26年度	27年度	28年度	目標値 (33年度)
	モデル路線の整備(5路線) ↓ 整備延長 L=4.0km	目標	-	モデル5路線選定 実施計画策定	モデル5路線 の整備	モデル5路線の 整備	-
		実績	-	モデル5路線選定 実施計画策定	モデル5路線 の整備	モデル5路線の 整備	-
	・H27整備効果の検証 整備済区間の利用者の増加を検証し、追加路線等を検討する。	目標				現状値より増	現状値より増
		実績	524人		524人	901人	
進捗状況説明	・計画通りモデル5路線にてL=4.0kmの整備を行い、目標を達成した。 ・モデル5路線におけるジョギング・ウォーキング等利用者数(18時間調査合計値)が現状値(基準値)よりも増加し、目標を達成した。 ・追加路線等の検討については、既存路線の延長の可能性を検討した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・平成29年度以降の課題として、追加の整備路線を選定・整備するにあたり、事業効果を高めるため、効果検証を実施する必要がある。</p>	<p>・これまで整備してきた5路線において、実際に利用している人に健康作りや歩きやすい歩道に関するアンケートの実施などが必要である。</p>

今後の取り組み方針

・平成29年度は引き続き整備を進める。また、健康作りや歩きやすい歩道などに関するアンケートの実施やこれまで整備してきた路線において整備効果の検証も併せて実施し、検証結果を踏まえて追加整備路線を検討する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
158,929	158,929	127,143	31,786	0	0	0

沖縄県
交付対象
事業費
158,929千円

工事請負費
137,855千円

No.	支出先	契約業務名及び業務概要	支出額 (千円)		入札者数	落札率
			うち交付金充当額			
1	那覇環境開発(有)	契約業務名 古宇利屋我地線歩道改良工事(H28) 業務概要 舗装工事等	23,289	18,631	9	89.8%
2	(株)七和	契約業務名 沖縄環状線(泡盛)歩道舗装工事(H28) 業務概要 舗装工事等	26,738	21,390	10	90.5%
3	大畑建設(株)	契約業務名 県道7号線歩道舗装工事(H28) 業務概要 舗装工事等	31,659	25,327	10	89.8%
4	(有)久吉組	契約業務名 高野西里線歩道舗装改修工事(H28-1) 業務概要 舗装工事等	16,041	12,833	13	89.2%
5	(株)丸弘造園土木	契約業務名 高野西里線歩道舗装改修工事(H28-2) 業務概要 舗装工事等	12,902	10,322	13	88.9%
6	(有)太陽土木	契約業務名 石垣浅田線歩道改良工事(H28-1) 業務概要 舗装工事等	26,877	21,502	5	90.3%
7	(有)太陽土木	契約業務名 石垣浅田線歩道改良工事(H28-2) 業務概要 舗装工事等	350	280	2	97.8%

委託料
21,074千円

No.	支出先	契約業務名及び業務概要	支出額 (千円)		入札者数	落札率
			うち交付金充当額			
1	永技研(株)	契約業務名 古宇利屋我地線歩道施設設計業務委託(H28) 業務概要 実施設計	842	674	3	91.8%
2	(一財)建設物価調査会 沖縄支部	契約業務名 北部管内資材単価調査業務委託(H28) 業務概要 単価調査	181	145	2	72.1%
3	(一財)経済調査会 沖縄支部	契約業務名 中部管内資材単価調査業務委託(H28) 業務概要 単価調査	49	39	2	55.2%
4	(一財)建設物価調査会 沖縄支部	契約業務名 南部土木事務所管内建設資材単価特別調査業務委託 業務概要 単価調査	318	255	2	80.8%
5	(有)翼測量設計	契約業務名 高野西里線道路照明設計業務委託 業務概要 実施設計	5,400	4,320	12	79.1%
6	(一財)経済調査会 沖縄支部	契約業務名 宮古土木事務所管内建設資材等単価特別調査業務委託 業務概要 単価調査	244	195	2	100.0%
7	永技研(株)	契約業務名 石垣浅田線照明設計業務委託(H28) 業務概要 実施設計	2,376	1,901	6	89.4%
8	(株)中央建設コンサルタント	契約業務名 道路空間整備効果検証業務委託 業務概要 効果検証	11,664	9,331	3	91.8%

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○工事業者は指名競争入札により実績を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	